

福岡県知事・県議会議員選挙

# 4月7日(日)は投票へ

福岡県知事・県議会議員選挙が4月7日(日)に行われます。これから4年間の県政を任せる人を決める大切な選挙です。

市内59カ所に設置される投票所で、7時から20時まで投票できます。開票は同日21時30分から久留米アリーナで行われ、開票状況は市ホームページで確認できます。

## 投票ができる人

平成13年4月8日までに生まれた人で、30年12月28日までに久留米市の住民基本台帳に登録され、引き続き本市に住んでいる人。

## 期日前投票

■県知事選挙 3月22日(金)から4月6日(土)まで  
■県議会議員選挙 3月30日

(土)から4月6日(土)までいずれも時間は8時30分～20時。会場は本庁舎2階くろみホール、各総合支所。4月3日(水)10時～17時は、久留米大学御井キャンパスでも投票できます。

市町村から12月29日以降に転入した人は、旧住所地で投票できる場合があります。市ホームページで確認してください。

市ホームページ「選挙」QRコード  
0942・30・9238、FAX 0942・30・9752



市ホームページ「選挙」QRコード



18歳未満の子どもと一緒に入れます

選挙のめいすいくんファミリー

市制施行130周年記念式典 4月3日(水)開催

# 明治期から現在までの久留米の歩み

久留米市は、平成31年4月1日で市制施行130年を迎えます。明治22年、他の30市と共に日本で初めての市として誕生しました。ものづくり技術の発展や戦後復興を経て、着実に成長

を続け、広域合併後、平成20年に中核市となりました。130周年の節目に、記念式典を行います。さらなる発展に向けて記念式典では、市政に貢

献した皆さんへの感謝状贈呈の他、130周年を記念して制作した映像で市の歩みを振り返ります。市制施行からの歴史、直近10年の成長、そしてこれから。先人が積み上げてきた歴史・文化・地域の魅力を、未来を担う私たちが再認識する機会です。

同日典の他に、明治期から現在までの久留米を振り返る図書館企画展示や、130周年記念植樹など、年間通じてさまざまな記念事業を行っています。



開通間もない九州鉄道久留米駅

## シリーズ 絆

### じんけんの絆

# 意思を尊重し選択肢を増やす

社会福祉協議会は家庭裁判所に選任され、法人として成年後見業務を行っています。業務に携わる古谷潔子さんに、同制度を通じて感じる人権の課題などについて聞きました。

## 市内で600人が利用

市成年後見センターへの相談は年間延べ400件。認知症になった親が介護施設と入居契約を結べない、介護施設の費用を親の代わりに銀行から引き出そうとしたら断られたなど、必要に迫られて相談に来る人が多いです。今、市内で成年後見制度を利用している人は約600人。そのうち約30人の後見を、社会福祉協議会が行っています。本人に代わって法的な手続きをしたり、預貯金を管理したりするだけでなく、適切な福祉サービスが受けられているかを確認するなど、生活面での支援も大切な役割です。

## 本人の思いを伝える

ある女性は高齢になり認知機能が次第に低下。体に障害もあるので、周囲は福祉施設に入居することを勧め、話が進んでい

ました。しかし、本人に話を聞くと、これまで通り自宅での生活を強く希望されました。メリット、デメリットを説明しても思いは変わりません。そこで、ヘルパーによる支援を充実させ、将来のお金の見通しが立っていることなどを親族に説明。本人も周囲も納得した上で、今も自宅で生活を続けています。

障害や認知症などで自分の意思を伝えることが難しい人でも、本人の意思は尊重されるべきもの。会って話を続けるうちに、伝えようとしている事が分かってくることもあります。後見人が本人の意思を支援につなぐことで、希望を叶える選択肢を増やせると感じています。

## 支援者と一緒になって

高齢化が進み、認知症になっても住み慣れた自宅や地域で生活を続けたいという人は増えるでしょう。後見人が、地域の人や民生委員、ヘルパーやケアマネジャーなど、さまざまな支援者と一緒に活動する機会は増えると思っています。

もし、様子がおかしいなという人が身近に居たら、地域包括支援センターや市役所など、相談機関に知らせてください。すぐに後見制度の利用とはなくても、必要な支援につながっていくと思います。

☎長寿支援課 (☎0942・30・9038、FAX 0942・30・6845)



昭和52(1977)年生まれ。鳥栖市在住

